

■台本のフォーマットについて

私がやりやすいと感じるシチエーションボイスの台本のポイントについて実際の台本形式で説明していきます。

縦書きか横書きかは、個人的にはどちらでも構いません。が、一般的には収録用の台本は、このような横向きの縦書きです。文字の大きさも重要です。

13ptか14ptくらいの大きさが読みやすいです。(これは14ptです)

改行については、句読点の部分など

不自然じゃないところで改行してあると読みやすいです。

小説のように、次の段落まで改行がない書き方は、

収録用の台本では読みやすいとは言えません。

複数キャラ登場する台本の場合は、

キャラA 「その声優さんの担当キャラの台詞を大きく十太字にする」

キャラB 「色分けを」

キャラC 「しておく」

などしてあると一目で分かりやすいです。

(SE:ヒロインの足音)

(主人公のそばに歩み寄る)

ト書きや効果音など、収録しない文章は

○で囲うなど、分かりやすくしておきます。

(右斜め前 遠)

(おどろいたように)

演技指示や、マイクの位置などは、

それが適用されるセリフの直前に書きます。

大体的場合は前後の流れからキャラの感情を読み取りますので

『絶対にこの演技をしてほしい、それ以外は認めん』という場合に演技指示を入れてもらえれば大丈夫です。

文章の途中でページをまたがないようにしましょう。
読点の部分で送るのが絶対ダメというわけではないですが、
ページをめくる作業は一瞬気持ちが悪くなるので、
句点でページが変わった方がやりやすいです。

ページ番号は必ずいれてください。

私の場合は紙に印刷するので、順番が分からなくなると致命的です。
また、リテイク指示の際、

○ページの「○○○○○」という台詞、
と指示できた方が確認がスムーズです。

ここまでできたら、台本はPDFで書き出して演者さんに渡しましょう。

できていない場合はこちらで台本化する必要があるので
編集できるファイルでないと困りますが、

基本的にはPDFファイルの方が、
書式もページ番号もずれないので便利です。

前述したリテイク指示の際の「○ページ」というのが、
閲覧環境によって変わるのでは意味がありません。

他にも、

ゆ〜〜つたり読んでほしい部分は

このように

改行を多めにする

多少、早口を防止できるなど

細かなテクニクはいろいろあるかもしれませんが、最低限

- ・文字の大きさ
- ・改行
- ・ト書き等の指示
- ・ページ番号

について、このフォーマットを参考にしていただければ
充分、やりやすい台本と言えます。